

## 凡例

- 1 記述はできるだけ平易なことをば使い、基準を中学校生徒においた。しかし、一部の編については、内容のうえから程度の高いものとなったことを了承されたい。
- 2 本文は常体で記述し、漢字は当用漢字を主として用いた。仮名遣いは現代仮名遣いを使用し、その範囲は許容事項までとした。また難解の語句にはルビを付した。
- 3 固有名詞・学術用語などは、そのまま旧漢字を採用したところがある。
- 4 史料は原文のままとし、引用資料のうち、判読不明のか所は□で、誤字の場合は□と表示した。
- 5 記述・統計資料の範囲を昭和五二年度までに限ったが、昭和五三年度のものを一部とり入れたところもある。
- 6 本文における人物については、すべて敬称を省略した。
- 7 人物編については、物故者に限り、現存者はとり上げなかった。また年齢は満年齢を採用した。索引は人物・事項のみとし、人物については松前町に関係がある方に限った。
- 8 伊豫市の「豫」は便宜上「予」を使用した。

## 目次

口 絵	三原 藤美	三 人口・戸数	八
町誌発行によせて	栗田 淑	1 人口・戸数の推移	八
町誌発行を祝す	住田 幸正	2 一戸平均人数	二
町誌発行によせて		3 校区別人口	二
		4 産業別就業人口	二
		5 自然・社会動態	三
		6 年齢別人口	二四
		7 平均寿命	二五
		8 現在の人口・戸数	二六
<b>第一編 自然環境</b>			
<b>第一章 位置・面積・人口</b>			
一 位 置	四	一 地形区分	一八
1 数理的位置	四	二 重信川流路の変遷	三三
2 交通的位置	四	<b>第三章 地 質</b>	
3 商工的位置	五	一 地質の概要	三五
4 近郊的位置	六	二 地質の断面	三六
二 面 積	七	三 土 壤	三九

## 第四章 気 候

- 一 気候の概況……………三
- 二 風 向……………三
- 三 風 力……………三
- 四 雨 量……………三
- 五 災 害……………三

## 第五章 生 物

- 一 松前町の自然環境……………三
- 二 植物でみる自然環境……………三
- 1 社叢林にみる植物群落の断片……………三
- 2 失われる植物群落……………三
- 3 重信川河口の塩沼地……………三
- 4 農道や水路の植物群落……………三
- 5 水生植物の様子……………三
- 6 草田池のタスキモ……………三
- 7 悪役の代表セイタカアワダチソウ……………三
- 8 町内に分布する帰化植物……………三

## 三 動物でみる自然環境……………七

- 1 大型哺乳類の変動……………七
- 2 野鳥と町民の生活誌……………七
- 3 注目すべき帰化留鳥……………六
- 4 帰化動物の定着……………六
- 5 淡水産魚類……………六
- 6 エビ・カニ類の消長……………六
- 7 水底の軟体動物……………六
- 8 その他無脊椎動物・昆虫類やクモ類……………三

## 第二編 歴 史

### 第一章 原始・古代

- 一 旧石器時代……………三
- 二 縄文時代……………二
- 三 弥生時代……………二
- 四 古墳時代……………二

## 五 律令制下の伊予……………三

- 1 伊予郡の成立(国・郡・里)……………三
- 2 式内社の分布……………三
- 3 条里制……………三
- 4 荘園の発生……………三
- 5 松前地域の荘園……………三

## 第二章 中 世

- 一 荘園の変遷……………三
- 二 中世初期の伊予……………三
- 三 南北朝時代の松前……………三
- 四 戦国期の松前……………三
- 五 河野氏の滅亡と松前……………三

- 1 伊予諸城の処理……………三

- 2 松前城主栗野秀用……………三

## 第三章 近 世

- 一 加藤嘉明と松前……………三
- 1 松前と嘉明……………三

## 2 嘉明の略歴……………三

- 3 嘉明の事績……………三
- 4 松前より松山へ……………三
- 5 加藤嘉明の転封……………三
- 6 蒲生時代……………三
- 二 江戸時代の土地制度……………三
- 1 太閤検地……………三
- 2 地 坪……………三
- 三 江戸時代の村……………三
- 1 近世村落の成立と村高……………三
- 2 戸口・人口階層……………三
- 3 村役人……………三
- 四 農民の負担と徴租方式……………三
- 1 本年貢……………三
- 2 春 免……………三
- 3 小物成・村入用など……………三
- 五 替地と替地に伴う紛争……………三

- 1 松前と嘉明……………三

1	大洲領と松山領の替地	二九六	1	重信川の改修と新田造成	二八六
2	松山大洲入会山紛争	二〇〇	2	古新田と御償新田	二八〇
3	網代騒動	二〇九	3	新田畑の開発	二五一
六	水利と水論	二二七	4	新田の開発形態	二五四
1	松前地域の水利	二二七	5	新田の売買	二五七
2	麻生水論	二二八	九	浜村の発展と漁業	二五九
3	夫婦泉と上井手	二三三	1	浜村の発展	二五九
4	杜若泉と横井手	二三五	2	松前港	二六三
5	神取泉	二三七	3	水主浦	二六三
6	大谷川水論	二三二	4	漁業	二六六
7	草田池	二三三	5	塩浜	二七一
七	農業	二三四	一〇	郷村の展開	二七四
1	農業の発展	二三四	1	郷村の発展	二七四
2	二毛作の普及	二三六	2	東古泉村の成立と性格	二七六
3	商品作物の栽培	二四〇	一一	災害と疫禍	二八二
4	耕地の兼併	二四四	1	松前と災害	二八二
八	新田開発	二四六	2	風水害	二八三

3	地 震	二六六	2	地券の交付	二九〇
4	コレラ	二六七	3	改正への疑惑	三一一
5	干害と蝗害	二六七	4	地券掛の回村	三二三
6	備荒と貯穀	二九〇	5	地租改正法の公布と着手	三三三
一一	新政移行	二九四	三	行政区画の改変	三五
1	農兵制	二九四	1	松前地方神山県へ移管	三五
2	松山藩征討	二九六	2	大小区制の実施	三六
3	版籍奉還	二九九	3	飛地の組替問題	三九
4	廃藩置県	三〇〇	四	土地制度の変革	三二
5	知事再任騒動	三〇一	1	庄屋役地	三二
二	諸制度の改革	三〇四	2	共有地紛争	三三
1	苗字の創設	三〇四	3	入会山問題	三五
2	壬申戸籍	三〇七	4	小作争議	三九
3	徴兵制	三〇七	5	第二次世界大戦下の生活	三四
二	地租改正	三〇八			
1	税制改革	三〇八			

## 第三編 行政・財政

### 第一章 行政

一 大小区制の実施	三三九
二 郡区町村編成法	三四〇
三 市制・町村制の公布	三四四
四 大正・昭和期の松前町	三四七
五 区長・区長会	三四八

### 第二章 松前町の誕生

一 合併を必要とした理由	三五〇
二 合併に対する国の方針	三五二
三 合併に至る経緯と概要	三五二
1 合併への動き	三五二
2 各町村の研究	三五六
3 町村合併研究会	三七〇
四 新町建設計画	三七九

五 松前町の発足と発展

1 合併後の歴代三役	三九九
2 合併後の歴代議長副議長	三九九
3 合併後の主な事業	四〇一
4 町役場の行政機構	四〇六
六 合併以前の各町村三役及び議員	四二〇

### 第三章 財政

一 合併までの財政状況	四二六
二 町制実施時における町税の状況	四三三
三 合併後の財政状況	四三四
四 財政再建	四三六
五 現在の財政状況	四三七

### 第四章 福祉

一 社会福祉の推移	四四二
二 生活保護	四四四
三 児童福祉	四四五
1 児童手当	四四六

2 保育所・幼稚園

3 遊園地	四四八
四 民生委員	四四八
五 身体障害者福祉	四五三
六 戦傷病者・戦没者・遺族等援護	四五四
七 老人福祉	四五五
1 老人憩の家	四五五
2 老人クラブ	四五七
3 敬老年金	四五九
4 老人医療費給付	四六〇
八 母子福祉	四六〇
九 零歳児医療費給付	四六一
一〇 授産場	四六一
一一 交通災害共済制度	四六三
一二 共同募金(赤い羽根)	四六三
一三 日赤募金	四六三
一四 町営住宅	四六四

一五 社会福祉協議会

1 心配ごと相談所	四六七
2 ヘルパー制度	四六七
3 まごころ銀行預託	四六八
4 ふとん乾燥車	四六八
5 世帯更生資金貸付制度	四六九

一六 同和对策事業

### 第五章 保健・衛生

一 明治以前の医療	四七三
二 明治以降の衛生行政	四七四
三 病氣治療の状況	四七六
四 伝染病とその対策	四八三
五 新時代の保健衛生	四八四
1 保健衛生行政	四八四
2 母子保健	四八五
3 成人病対策	四八七
六 医療機関と国民保険	四八八

1 開業医	四八八
2 国民健康保険の状況	四九一
七 環境衛生	四九四

1 ねずみ・害虫駆除	四九四
2 ごみ処理	四九四
3 し尿処理	四九七
4 上水道	四九九
5 下水道	五〇四
6 火葬場	五〇五
7 墓地	五〇五

### 第六章 土木建設

一 道路橋梁	五〇七
1 主要道路の変遷	五〇七
2 橋梁	五〇五
二 河川	五〇七
1 河川の歴史と変遷	五〇七
2 重信川の渡し	五〇二

三 港 湾	五二
1 松前港の歴史	五二
2 近代港湾	五二

### 第七章 警備・治安

一 消 防	五二
1 消防の沿革	五二
2 消防団	五二
3 消防団の誕生	五二
二 町内消防組織	五二
1 機械器具の状況	五二
2 消防用水	五二
三 消防組合及び松前消防分署	五二
1 救急業務	五二
四 警察制度	五二
1 警察制度の変遷	五二
2 自治体警察	五二
五 松前派出所の沿革	五二

六 北伊予駐在所の沿革	五三
七 岡田駐在所の沿革	五三

### 第八章 徴兵・兵事

### 第九章 選 挙

一 選挙制度の変遷	五八
二 国會議員の選挙	六一
三 県議會議員の選挙	六三
四 町長選挙	六四
五 町議會議員選挙	六五
六 選挙管理委員会	六七

3 家 畜	六〇
4 耕地整理	六一
5 農家の副業―伊予耕	六五
二 水利技術の発達	六八
1 水利協定	六八
2 鶴吉水利組合	六六
3 河川・溜池水利権の推移	六七
4 湧水池と水利	六九
5 道前道後水利総合開発事業	六三

三 戦後の農業	六四
1 食料増産と農村の民主化	六四
2 農業構造改善事業	六五
3 営農団地化	六八
四 経営の動き	六〇
五 農地改革	六五
1 農地改革への動き	六五
2 第一次農地改革	六六

## 第四編 産 業 経 済

### 第一章 農業経営

一 農政と農業技術の発達(戦前)	六一
1 米・麦作の発展	六一
2 畑作物の変遷・発達	六五

五 農地改革	六五
1 農地改革への動き	六五
2 第一次農地改革	六六

3	第二次農地改革	六六三
4	農地改革の影響	六六〇
六	農地委員会・農業委員会	六四三
1	農地委員会	六四三
2	農業委員会	六四四
七	農業共済組合	六四六
第二章	農業協同組合	
一	農 会	六四〇
1	松前村農会	六四〇
2	岡田村農会・区農会・ 勸業調査会・原種田	六五一
3	北伊予農会	六五三
二	産業組合	六五四
1	産業組合への動き	六五四
2	松前村産業組合	六五五
3	岡田村産業組合	六五六
4	北伊予村産業組合	六五四

三	農業会	六六八
1	松前町農業会	六六八
2	岡田村農業会	六六八
3	北伊予村農業会	六六九
四	農業協同組合	六七〇
1	松前農協	六七〇
2	岡田農協	六七二
3	松前町農協	六七三
4	北伊予農協	六七五
5	育苗センター	六七九
6	農業倉庫	六七九
第三章	農業の近代化	
一	農業振興の基本構想	六八二
1	重点作目の選定	六八三
2	生産目標	六八四
3	農業生産技術の改善目標	六八五
4	集出荷販売の改善目標	六八六

5	農業経営等の目標	六八七
6	協業経営・協業組織等 集団生産組織の育成方針	六八九
二	地域の開発構想	六九〇

#### 第四章 商工業

一	商 業	六九二
1	松前町の商業	六九二
二	工 業	六九五
1	松前町の工業	六九五
三	その他の組合	六九七
1	松前町商工会	六九七
2	松前町青色申告会	七〇一
3	伊予地区食品衛生協会松前支部	七〇三
4	四国珍味協同組合	七〇三

#### 第五章 水産業

一	明治前期の漁業	七三三
二	明治後期から戦前の漁業	七三六

三	戦後の漁業	七二一
第六章	金 融	
一	金融の変遷	七七七
二	松山地方の金融	七七七
三	松前地方の金融会社	七八八
1	伊予銀行松前支店	七九二
2	伊予信用金庫松前支店	七〇〇
3	公益質屋(庶民金融)	七二二

#### 第七章 交通・通信

一	交 通	七三三
1	古代及び中世の交通	七三三
2	藩政時代の交通	七四四
3	明治以後の交通	七六八
二	通 信	七四四
1	郵便の歴史	七四四
2	松前町の郵便局	七四四
3	電信・電話の歴史	七四九

## 第五編 教 育

### 第一章 学校教育

4 松前町における電信・電話とその推移……………	七五〇
5 有線放送の誕生と経過……………	七五三
三 小学校の沿革……………	七九三
1 松前小学校……………	七九三
2 岡田小学校……………	七九九
3 北伊予小学校……………	八〇四
四 中学校の沿革……………	八一一
1 松前中学校……………	八一一
2 岡田中学校……………	八一五
3 北伊予中学校……………	八一九
五 青年教育……………	八二三
1 補習学校教育の発足……………	八二三
2 各大字の補習学校……………	八二四
3 実業補習学校の統合……………	八二五
4 青年訓練所……………	八二九
5 青年学校……………	八三二
六 幼稚園教育……………	八三七
1 松前幼稚園……………	八四〇
2 古城幼稚園……………	八四一
一 藩政時代の教育……………	七九六
1 松山藩の教育……………	七九九
2 松前地区の塾・寺子屋……………	七六〇
3 寺子屋教育概要……………	七六七
二 明治・大正・昭和の教育……………	七七〇
1 近代教育の創始……………	七七〇
2 近代教育制度の確立整備……………	七七三
3 教育制度の拡充……………	七八〇
4 戦時下の教育……………	七八五
5 戦後の教育政策と新教育制度……………	七八八
6 新教育制度の整備充実……………	七九二
三 小学校の沿革……………	七九三
1 松前小学校……………	七九三
2 岡田小学校……………	七九九
3 北伊予小学校……………	八〇四
四 中学校の沿革……………	八一一
1 松前中学校……………	八一一
2 岡田中学校……………	八一五
3 北伊予中学校……………	八一九
五 青年教育……………	八二三
1 補習学校教育の発足……………	八二三
2 各大字の補習学校……………	八二四
3 実業補習学校の統合……………	八二五
4 青年訓練所……………	八二九
5 青年学校……………	八三二
六 幼稚園教育……………	八三七
1 松前幼稚園……………	八四〇
2 古城幼稚園……………	八四一

3 青葉幼稚園……………	八四二
七 同和教育……………	八四三
八 教育委員会……………	八四四
九 教育の町宣言……………	八四六
一〇 学校給食……………	八五〇
1 学校給食の起源……………	八五〇
2 町内の学校給食……………	八五二

### 第二章 社会教育

一 江戸末期—昭和前期の社会教育……………	八四四
1 青年会のめばえ……………	八四四
2 青年会設立の促進……………	八四五
3 青年団体の充実……………	八四六
4 青年団の活動状況……………	八四六
5 処女会の発足・女子青年団……………	八四七
6 婦人会の状況……………	八四七
7 その他の社会教育団体……………	八八一
二 戦後の社会教育……………	八八三

1 社会教育振興の原因……………	八八三
2 社会教育法の制定……………	八八五
3 社会教育の改革……………	八八五
4 公民館の創設……………	八八八
5 公民館の設置と活動状況……………	八八八
6 同和教育……………	八九三
7 図書館のあゆみ……………	八九四
8 PTAの発足とその発展……………	八九六
9 愛護班活動と子供会……………	八九五
10 成人教育……………	八九〇
11 婦人教育……………	八九三
12 青年教育……………	八九〇
13 少年教育……………	八九五



## 第六編 宗 教

### 第一章 神 社

1	高忍日売神社	九四二
2	素鷲神社(中川原)	九四三
3	素鷲神社(大間)	九四四
4	恵依弥二名神社	九四五
5	伊予神社	九四六
6	稲荷神社	九四八
7	和多都見神社	九四九
8	沖神社	九五〇
9	玉生八幡大神社	九五〇
10	素鷲神社(東古泉)	九五二
11	八幡神社	九五三
12	住吉神社	九五三
13	蛭子神社	九五三

### 第二章 寺 院

14	頭王神社	九五五
15	素鷲神社(横田)	九五五
16	素鷲神社(大溝)	九五五
17	鎮守神社	九五五
18	貴布弥神社	九五七
19	天神社	九五七
1	本性寺	九六一
2	吉祥寺	九六三
3	宗金寺	九六五
4	晴光院	九六六
5	禪正軒庵	九六六
6	天長寺	九七〇
7	華藏庵	九七二
8	金蓮寺	九七三
9	長徳寺	九七七
10	西沼寺	九七九

### 第三章 キリスト教

### 第四章 教派神道・その他

11	教明寺	九六〇
12	大智院	九六一
13	善正寺	九六三
14	妙寛寺	九六四
15	大念寺	九六六
16	宗通寺	九六八
17	不動院	九六九
18	教深寺	九九〇
1	金光教松前教会	九九三
2	天理教岡田分教会	九九四
3	黒住教伊予教会所	九九四
4	黒住教松前教会所	九九五
5	特殊信仰	九九六
(1)	北川原西国三十三か所観音	九九六
(2)	旭観音	九九七
(3)	馬頭観音	九九八
(4)	南千手観音	九九八
(5)	地藏尊	九九九
(6)	矢野地藏	九九九
(7)	子育地藏	一〇〇〇
(8)	庚申堂	一〇〇一
(9)	荒神堂	一〇〇一
(10)	薬師堂	一〇〇三
(11)	延命地藏尊	一〇〇三
(12)	田 許	一〇〇四
(13)	神社さま	一〇〇五
(14)	辰之助信仰	一〇〇五
(15)	ひびけしさま	一〇〇六
(16)	恵美須さま	一〇〇七
(17)	弘法大師信仰	一〇〇七
(18)	家庭内における弘法大師信仰	一〇〇八
6	創価学会	一〇〇八



## 第七編 民俗

7 道徳科学 (モラロジー) .....	1010
8 生長の家 .....	1011

3 住生活 .....	1015
二 人生儀礼 .....	1016
1 出生 .....	1016
2 結婚 .....	1016
3 厄年・年払い .....	1016
4 葬祭 .....	1016

### 第一章 部落社会の構造

一 地名のおこり .....	1015
1 大字 .....	1015
2 ホノギ .....	1015
二 部落の自治 .....	1015
1 昔の村 .....	1015
2 組つき合い (村つき合い) .....	1015
3 若連中と子供組 .....	1015

### 第二章 風俗と生業

一 衣食住 .....	1015
1 衣生活 .....	1015
2 食生活 .....	1016

三 農業と器具 .....	1016
1 苗代づくり .....	1016
2 田植え .....	1016
3 除草 .....	1016
4 害虫駆除 .....	1016
5 脱穀 .....	1016
6 調製 .....	1016
7 麦作 .....	1016
8 麦の脱穀 .....	1016
四 漁業と漁具 .....	1016
1 船下し .....	1016

2 一本釣り .....	1017
3 地曳き網 .....	1017

一〇 藤木峠のお地藏さん .....	1015
第五章 おたた (売魚婦)	
一 松前とおたた .....	1016
二 おたたの語源 .....	1016
三 瀧姫伝説と信仰 .....	1016
四 松山築城とおたたの特権 .....	1016
五 おたた行商とからつ・かんづめ行商 .....	1016

### 第三章 年中行事

一 正月の準備 .....	1016
二 正月の行事 .....	1016
三 春から夏の行事 .....	1016
四 秋から冬の行事 .....	1016

### 第四章 民話と伝説

一 稲納屋 .....	1015
二 海霊山 .....	1016
三 大念仏 .....	1016
四 矢野地藏 .....	1016
五 大間 .....	1016
六 長命大師堂 .....	1016
七 状持ちの灯 .....	1016
八 戸たてずの庄屋 .....	1016
九 旅人と黄金のつば .....	1016

### 第六章 子供の生活

一 子供の遊び .....	1016
二 わらべうた .....	1016
1 一かけ 二かけ .....	1016
2 あんたがたどこさ .....	1016
3 一匁の一助さん .....	1016

第七章 民謡

4	おじゃみ	二三五
5	おさら	二三五
6	一の宮	二三五
7	妻女山	二三五
8	いのこ	二三六
9	大黒さんという人は	二三六
10	豆まきの歌	二三六
1	田鋤歌(牛追い歌)	二三七
2	苗取り歌 田植歌	二三七
3	田草取り歌	二三六
4	もみすり歌	二三六
5	地つき歌	二三九
6	櫓漕歌・船頭歌・網引歌	二三九
7	機織り歌	二三〇
8	糸繰り歌	二三〇
9	糸引き歌	二三三

第八章 郷土芸能

10	養蚕歌	二三三
11	茶摘み歌	二三三
12	白挽き歌	二三三
13	米搗き歌	二三三
14	雑歌	二三三
15	松前音頭	二三三
16	おたた音頭	二三三
17	北伊予数え歌	二三五
一	獅子舞い	二三七
二	万歳	二三六
1	三番叟(前歌)	二四二
2	松づくし	二四三
3	柱ぞろえ	二四三
4	豊年踊	二四四
1	方言	二四六

第八編 文化財・文芸・観光

第一章 文化財

2	俚諺	二七三
一	天然記念物	二七九
1	モガシ	二七九
2	牛飼原の松	二八〇
3	雪勝桜	二八一
二	史跡	二八三
1	義農作兵衛の墓	二八三
2	筒井門の礎石	二八五
3	松前城跡	二八五
三	有形文化財	二八九
1	伊予神社五輪塔	二八九
2	経塚遺品	二九〇
3	塔の礎石	二九三
4	オトヨ石	二九三
5	宝剣	二九三
6	大形甕形土器	二九四
7	手水鉢	二九五
8	恵比須神社の神籠石・吉祥寺石燈ろう	二九六
9	掛け仏	二九七
10	甲冑・具足	二九八
11	獅子頭	二九八
12	一枚起請文	二九九
13	宣旨	二九九
14	鍵谷カナ過去帳	三〇一
15	親鸞上人真筆	三〇一
16	開基仏	三〇三
17	絵馬	三〇三
18	本多家旧屋(中川原)	三〇六

## 第二章 文芸

一 漢詩	二〇八
1 鷺野南村	二〇六
2 鷺野舜樂	二三三
3 武智五友	二三六
4 相原賢	二三三
5 相原修	二三三
6 村井俊明	二三四
7 武市庫太	二三九
8 忽那久吉	三四四
9 忽那政市	三四七
10 その他	三四九
二 和歌	三五〇
1 奉納歌	三五〇
2 明治・大正の和歌	三五三
3 道歌	三六〇
4 俚謡・狂歌	三六一

5 伊子鉄道唱歌	三六二
6 伊子愛国百人一首	三六三
7 現代短歌	三六三
8 歌碑	三六六
三 俳諧	三七三
第三章 観光	
一 義農公園	三六一
二 愛媛亜熱帯植物園	三六四

## 第九編 義農作兵衛

第一章 享保飢饉と義農作兵衛	三七一
第二章 封建時代の農民生活	三七三
第三章 享保の大飢饉と松前地区	三六四
第四章 松前地区飢饉の惨状	三六六
第五章 幕府及び藩の救助対策	四〇六
第六章 作兵衛の事績及び顕彰事業	四一九

## 第一〇編 東レ工場誘致と発展

### 第一章 工場誘致

一 誘致運動の発端	四七〇
二 発展更生会の結成	四七九
三 工場誘致期成同盟会の成立	四八一
第二章 日本レイヨン株式会社 誘致の失敗	

一 漁業権の問題	四八三
二 水利権の問題	四八五
三 用地買収	四八六
四 交渉の結末	四八八
第三章 東洋絹織株式会社誘致の成功	
一 東洋絹織株式会社との交渉	四八五
二 町内漁業組合との折衝	四八一
三 町外漁業組合との協議	四八三

### 第四章 工業用水

一 岡田村との交渉	四八九
二 送水路用地の買収	四九〇
三 東レ深井戸の増設	四九四
四 県工業用水の導入	四九五
第五章 東レ株式会社愛媛工場の歩み	
一 創業期	四九七
二 受難期	四九七
三 復興期	四九八
四 成長期	四九九
第六章 松前町在住東レ社員の推移と 今後の展開	
一 東レ社員の松前町内在住の状況	五〇一
二 松前町出身者の年度別入社状況	五〇一
三 東レ愛媛事業場の今後の展望	五〇二

第一編 人物

第一章 人物

1	相原 賢	.....	一五五
2	相原 修	.....	一五六
3	大森 彦七	.....	一五九
4	忽那 栄左	.....	一五三
5	忽那 快風	.....	一五〇
6	忽那 久吉	.....	一五一
7	窪田節二郎	.....	一五一
8	神山 諦鏝	.....	一五九
9	後藤又兵衛	.....	一五四
10	佐々木彌助兄弟	.....	一五六
11	七右衛門	.....	一五二
12	篠崎謙九郎	.....	一五八
13	菅谷半之丞	.....	一五九
14	仙波林三郎	.....	一五二
15	武市 庫太	.....	一五五
16	武智勘次郎	.....	一五二
	佐伯与三兵衛	.....	一五二
17	武智 五友	.....	一五四
18	玉井源七郎	.....	一六六
19	西谷 広助	.....	一六三
20	塙団右衛門	.....	一六四
21	松崎 新藏	.....	一六七
22	森田雷死久	.....	一六二
23	幽谷 上人	.....	一六五
24	鷲野 南村	.....	一六九
25	鷲野 舜榮	.....	一六四
	年表	.....	一六三
	索引	.....	一六五
	編集後記	.....	一六七

第一編 自然環境

引

五十集船(いさば)	1111
一 帰 賀 集	1283
一 田(夏井)	1355
一 の 井 手	218・610
一 枚 起 請 文	1199
一 炉 庵(夢村)	1291
一 得 齋 埋 蛇	1272
井 手 賦 米	194
伊 藤 雲 崖	1227
田 舎 論 語	1543・1548
稲 荷 神 社(鶴吉)	947
稲 荷 神 社(西高柳)	948・1396
亥 の 子	1084
今 治 夜 話	1385・1406・1410
伊 予 一 国 集	1285
伊 予 一 国 絵 図	172
伊 予 子 耕	605
伊 予 銀行松前支店	719
伊 予 郡 廿 四 々 村 手 鑑	177・1381
伊 予 郡 の 成 立	122
伊 予 郡 廿 一 々 村 万 元 揃 張	194・253
伊 予 信用金庫松前支店	720
伊 予 神 社	946
伊 予 神 社 五 輪 塔	1189
伊 予 子 子 簾	1275
伊 予 子 寿 多 礼	1284
伊 予 地区清掃センター	496
伊 予 鉄 道	693・739
伊 予 鉄 道 唱 歌	1262
岩 舗 天 満 宮	956
岩 村 高 俊	313
入 合 山	200・325

索

〔あ〕	
会 班 修 賢 泉	878
婦 護 原 原 坂	915
受 愛 相 相 赤 赤 星 星	1233・1516
大 龍 郎 び 来 音	764・1231・1505
星 平 祭 け 由 観	98・221
赤 星 秋 あ 字 旭 朝 網 麻 足	764
大 次 郎 り び 来 音	410・655
祭 け 由 観	1083
あ 字 の 観	1265
旭 朝 網 麻 足	1015
日 天 神(天 神 社)	997
朝 網 麻 足	957
網 麻 足	209
麻 足	218
足 立 鉄 石 門	21・161・217・517
阿 部 万 左 衛 門	1213
雨 乞 漁 業	221
網 漁 業	289・1115
アメリカ教育使節団	269
アメリカ軍政部集	789・857
あ ら 株 集	907
有 光 輝 一 朗 用 碑	1294
粟 野 秀 用 碑	1266
暗 渠 埋 設 碑	146
	609
伊 予 郡 選 出 県 会 議 員	583
育 苗 セ ン タ ー	679
〔い〕	

編集後記

かねてから、町誌編纂を待望する声は、町民各層の間にひろがっていた。その要望にこたえて、昭和五〇年七月に松前町誌編纂委員会が発足し、同八月に第一回の町誌編集委員会が開かれた。

それ以来、資料の収集・原稿執筆・編集作業・浄書と苦難の連続のなかに約四年半の年月が流れた。その間、資料収集の困難によって、一時は町誌の完成もあやぶまれたが、終始、顧問景浦勉先生のご指導とご激励をうけて、ようやく目的を達成することができた。

本誌では中学生にも理解できるように平易な記述を心がけたが、やや程度の高い専門的な分野も生じた。歴史の流れに従って、松前町の姿を浮かび上がらせようと努力したが、振り返ってみると不備な点もすくない。また、資料の不備により、町誌としての体裁の整わない面もあったことを反省している。今後読者諸兄のご指導をいただき、本誌を基盤として、将来、よりりっぱな松前町誌の編集が行われる時期の来ることを切に祈ってやまない。

終わりに、県庁・愛媛県立図書館・愛媛県立歴史民俗資料館・愛媛大学・松山商科大学・伊予史談会・伊予市教育委員会・町内の各学校・諸団体・個人の方から貴重な資料の提供や指導を受け、限りないご協力を賜ったことに、心から厚くお礼を申しあげ次第である。なお、大西安広・高市喜慶氏の諸種のお力添えに感謝を捧げ、関洋紙店印刷所の良心的な印刷・造本に対しても深くお礼を申し上げる次第である。

編集主任 重松 俊 雄

医療機関 488

〔う〕

浮世(忽那) 1244・1345・1543  
 烏銅ヶ原の岬 1279  
 牛飼ヶ原の松 1180  
 薄墨の絵旨 1200  
 雨泊 1321  
 浦屋雲林 1239  
 雨量 35  
 雲烟過眼 1289  
 ウンカ駆除呪文 1407  
 ウンカ注油駆除法 236・1387

〔え〕

衛生 473  
 永楽社 1309  
 蛭子神社 953  
 恵依弥二名神社 945  
 愛媛アララギ 1263  
 愛媛亜熱帯植物園 1364  
 愛媛県の成立 317  
 絵馬 1203  
 燕居偶筆 1378  
 塩沼地の植物群落 50  
 遠藤良貞 417・678  
 塩美園 498  
 延命地蔵 1003・1252

〔お〕

学 240  
 おいまつ集 1304  
 大井手川 525  
 大模型 116・1194  
 大藏永常 1385  
 大洲街道 507  
 大月覆斎 1378  
 大原其戎 1293・1529  
 1607・1622  
 大政正容 651  
 大政金右衛門 766  
 大森彦七 135・1519  
 往来居士(五友) 1226・1230  
 大谷川水論 231  
 大谷川 231・529  
 大友氏の来襲 139  
 大西和一郎 1300・1527  
 大西思明 867  
 大西盛行 662  
 大西実太郎 681  
 大念仏 1087  
 御替地古今集 1568  
 御かせい田 333  
 岡田駅 693  
 岡田小学校 775・782・799  
 岡田中学校 815  
 沖神社 950  
 奥平篤居 1278・1313  
 尾崎時春(吟斎) 1429  
 おたまた 1096  
 落穂集 1375  
 御偵新田 250  
 おとよ 1108・1193  
 おドロ泉 58  
 親子会 916

〔か〕

開基仏 1203  
 開業医 488  
 海上交通 742  
 開進小学校 771  
 開達小学校 771  
 海難救助 263  
 海浜植物群落 47  
 懐風藻 1208  
 快風(忽那) 1247・1347・1530  
 替杜若 198  
 花睡(土居) 225  
 鍵谷カナ 1277・1282  
 学角丸(宮内) 1201  
 学務委員 770  
 隔離病舎 778  
 掛け 475  
 水困 1197  
 我人(野沢) 265  
 1276・1322・1324  
 火葬場 505  
 刀符令 1373  
 肩の儀右衛門 211  
 甲冑 1198  
 学校給食 857  
 桂酒舎千羅(玉井) 1328  
 華亭隨筆 1235・1237・1255  
 加藤嘉明 148・163  
 加藤泰興 198・211  
 金子藤吉郎(聴籟) 1312  
 歌碑 1266

神井手 315・339  
 上井忠知 222  
 浦生丸泉 163・198  
 鳥丸船 612  
 からつ船 534・1111  
 刈屋の戦 157  
 環境衛生 494  
 観光 1361  
 神崎尋常小学校 771  
 神崎庄 131  
 漢詩 1208  
 甘蔗 242・596  
 涵翠居(黒田青菱) 1302・1326  
 かんづめ 1113  
 神取泉 227  
 寛文山論 203  
 館報まさき 888

〔き〕

棉化植物 67  
 棉化動物 88  
 気候 31  
 儀光寺 1399  
 奇節(篠崎謙九郎) 1578  
 北伊予小学校 778・781・804  
 北伊予中学校 819  
 北伊予駅 694  
 北川原三十三ヶ所観音 996  
 北川原尋常小学校 775  
 義倉 291  
 癸丑喰社 1214・1247・1532  
 義農作兵衛 1183・1371  
 義農公園 1361  
 義農神社 1437

義農児童公園	486・1361
義農農会	1451
義農顕彰	1212・1429
義農作兵衛鎌谷カナ顕彰詩歌	1212・1441
貴布弥神社	957
義方小学校	771
木村六右衛門	160
九霞楼	1217
教育委員会	845
教育に関する勅語	773
教深寺	990
経塚遺品	1190
狂歌	1261
吉祥寺	963・1196
教明寺	980
教明寺俳額	1298
享保の飢饉	288・1384
享保他所網	215
郷土芸能	1137
共有地紛争	323
共同墓地	505
行政区画の変遷	315
教派神道	993
共立衛生組合	497
行商	692・1109
漁業	266・703
旭川小学校	771
キリスト教	992
金葉軒(金子藤吉郎)	1312
金融	717
〔く〕	
句合せ(俳句相撲)	1301
愚吟集	1244・1543
草田池	63・233

楠池	19
楠田小学校	771
忽那久吉(宮橋)	1244・1347・1531・1541
忽那政市(快風)	1247・1347・1530
忽那栄左(里月)	693・1260・1523
国近川	523
句碑	1336・1359
窪田節二郎	1249・1551
窪田兵右衛門	222
窪田椰子園	1364
久保羅谷	1212
熊沢藩山	1376
黒住教神崎教会所	994
黒住教松前教会所	995
黒田九兵衛	157
黒田青菱	1302・1326
黒田南山史	1354
区長・区長会	348
組入り	1035
栗上氏	142
栗田栲堂	1274
郡区町村編成法	340
軍人援護	454
〔け〕	
慶安御触書	1375
恵翁(千鳥庵)	1276・1280
警察	546
恵永小学校	771
華蔵庵	972
警防団	537
下水道	504
検見	188

健康診断	487
健康保険	491
現代短歌	1263
検見	164
県道	509
〔こ〕	
校医	476
工業用水	695
工業用水	1489
神籠石	1196
耕作組合	331
公衆衛生	487
庚申信仰	1001
荒神信仰	1002
郷村	274
合田弥四郎貞遠	135
耕地整理	602・1526
交通	723
河野氏	134
河野通直	137
弘法大師信仰	1007
公民館	888
神山諦真	1558・1562
神山諦	1558
郷約	292
香蘭社	1213
校区別人口	11
高齢者学級	920
五橋(蛙吹舎)	1273・1325
五格(五友)	1226
国民健康保険	491
国民健康	735
国防	507
国防婦人会	880

国民学校令	785
石盛	166・235
小作争議	329
五松庵	765・1253
古新田	250
子育地蔵	1000
孤忠の誉	1349
戸長	339
克讓	1277・1287
後藤又兵衛	1564・1616
後藤光太郎	664
子供組	1041
子供の遊び	1121
古城跡	1186
小早川氏の伊予侵入	144
小早川隆景	144
古墳時代	117
小松小学校	771
米湊網代紛争	210
米騒動	329
小物成	193
五友詩碑	1228
五葉舎(角丸)	1276
神寄川	526
コレラ	287
金光教松前教会所	993
金蓮寺	766・973・1251・1423
〔さ〕	
菜網	266
菜浦	266
西鶴(井原)	1097
災害	37・282
在郷軍人会	883



索引

西沼寺	979・1404
柴人(椎亭)	1277
財政	428
西馬(惺庵)	1309
彩洋小学校	771
佐伯与三兵衛	243・1592
相良永代録	1409・1427
佐々木徳右衛門	1568
佐々木弥助	1568
佐々木与右衛門	1568
佐藤信淵	1379
沢両東四郎	797
三韓人	1360
産業組合	654
産業別就業人口	12
産業廃棄物	495
杉谷(千栄園)	1320

[ し ]

四時園(大原其戎)	1293・1300・1607・1622
四時園社中	1296
塩浜	271
塩屋新田	252
茂川啓次郎	1550
式内社	123
四国遍路	725
重信小学校	771
重信子頭	1137・1199
草入道	137
地蔵町	286
地蔵町	740
ンブキ	1343
七右衛門	1571

市町村制	344
実業補習学校	823
自転車	732
自動車	732
品川弥次郎	1440
し尿処	497
篠崎可志久	1351
篠崎活	1349
篠崎幸枝	1354
篠崎九郎(奇節)	1308・1576
篠崎小竹	762・1640・1646
社会教育	864
社会体育	894
社会保険	491
社会叢林	43
十五堂(水木)	1322
集義和番	1376
集団検診	487
宗門改帳	181・1400
守中庵(石山)	1301・1323
出作遺跡	119
出土品	118
巡回文庫	875・904
荘園	127
商常福寺	692
浄光寺俳額	1630
浄光寺俳額	1329
少女水道	935
少年団	499
少年団	935
笑波(西村)	1343
商品作物	240
消防	535
定免	188
縄文時代	114
松里制	1277・1279
糸里制	125

庄屋・組頭給米	183
庄屋	316・321
如鏡稿物	1226
植除蝗録	43
除蝗女會	1385・1407
白濁善次郎	876
新開泉	267
神社さま	63
壬申戸籍	1005
壬申砂俵	307
壬辰協定	1289
新田開発	613
親鸞上人真筆	248・251
人力車	1202
	731

[ す ]

随意(矢野権九郎)	1280
水害	37
水害復興碑	519
水源	502
水生植物	57
水道	499
燈洋小学校	771
水利慣行	217
陶惟貞	1220・1289・1505・1647
頭王神社	954
菅谷半之丞	1579
鈴木正長	1391
砂浜の植物群落	47
スポーツ少年団	937
隅田川(角田川)	24
住吉神社	953

[ せ ]

西城物器	1379
生活改善	895
晴光院	966
成人教育	920
セイタカアワダチソウ	65
生長の家	1011
青年学校	831
青年訓練所	829
青年団	865
青菱(黒田・涵翠居)	1302・1326
関ヶ原の戦	156
石鉄	318・339
積座邦語	1418
石山(守中庵)	1301・1323
関谷瀧衛	411
世帯数・人口推移	8・9・10・15
石器時代	113
雪月楼	1641
雪勝桜	1181
雪燈(武市庫太)	1239・1336・1585
銭塚樋門	615
選国時代の松前	578
戦国時代の松前	138
宣旨	1200
禅正軒	968
善正寺	983
柊投樋門	612
仙波林三郎	1582
戦没者名簿	556
千楽寺	998
千羅(玉井)	1606

[ そ ]

創 価 学 会	1008
宗 金 寺	965
宗 通 寺	988
増 福 寺	1398
叟 柳(野 間)	1323
素 鷲 神 社(大 間)	944
素 鷲 神 社(中 川 原)	943
素 鷲 神 社(横 田)	955
素 鷲 神 社(東 古 泉)	951
素 鷲 神 社(大 溝)	955

[ た ]

大 海 集	1567
太 閤 検 地	164
大 小 区 制	316・339
大 政 翼 賛 会	880
田 植 歌	1127
大 智 院	981・1402
第 二 次 世 界 大 戦	334
大 道 寺 友 山	1375
大 念 寺	986
太 平 洋 戦 争	334
大 間 迎 え 火 送 り 火	1081
高 井 少 鷲(蘭)	1321
高 井 春 蟻	1321
高 市 包 太 郎	797・1610
高 市 慶 章	796・1610
高 市 盛 房	762
高 忍 日 売 神 社	941
高 木 四 郎 左 衛 門	1273・1325
高 内 又 七	189
瀧 姫	103・278・1103
瀧 姫 堂	1105

瀧 姫 神 社	1107
武 市 庫 太	1239・1336・1585
武 市 英 俊	1212・1307・1552
武 井 宗 意	254
田 川 鳳 朗	1313
竹 内 旦 泉	1282
武 智 勘 次 郎	242・1592
武 智 五 友	1594
武 智 雅 一	693
武 智 盛 栄	1212・1259
田 許(里)	473・1004
太 政 官 道	724
橋 東 太 郎	762・1441・1610
辰 之 助 さ ま	1005
田 中 惟 仙	761
田 中 為 仙	761
田 中 一 如	760
七 夕	1081
谷 世 範	1325
田 畑 売 渡 証 文	257
田 畑 永 代 売 買 禁 止 令	244・1377
田 畑 の 質 入	244
溜 池	617
玉 生 地 蔵 尊	1404
玉 生 庄(莊)	129
玉 生 古 社	1019
玉 生 八 幡 大 神 社	766・950・1250
玉 井 源 七 郎	1606
丹 波 南 陵	1429

[ ち ]

地 下 水	60・69
力 石	1042

畜 産	600
地 形	18
知 事 再 任 騒 動	301
地 租 改 正	308
地 租 改 正	308
知 名 美 久 佐	1279
地 坪	167
地 名 の お こ り	1015
駐 在 所	548・551
忠 靈 塔	1362
聴 雨(陶)	1290
聴 雨(鶯 居)	1292
長 州 征 伐	297・370
町 村 合 併	350・401
手 水 鉢	1195
聴 水(三 浦)	1326
長 善 寺	1393
長 宗 我 部 の 侵 入	144
町 道	514
長 徳 寺	977
町 民 グ ラ ン ド	895
町 民 運 動 会	892
町 民 会 館	894
長 命 大 師	1091
栲 堂(栗 田)	1274
徴 兵 制	307・554
聴 籟(金 子)	1312
鎮 守 神 社	956

[ つ ]

筒 井 門	162
筒 井 門 の 礎 石	1185
通 行 手 形	727
月 夜 さ う し	1275
佃 十 成	157

津 留	1386
-----	------

[ て ]

出 合 橋	515・693
鉄 齋(富 岡)	1440
鉄 嶺 夫 人	1249
寺 子 屋	767
伝 説	1085
伝 染 病	482
天 長 寺	970
電 報 ・ 電 話	749
天 明 山 論	205
天 理 教 岡 田 分 教 会 所	994

[ と ]

道 徳 歌	1260
道 徳 科 学	1010
塔 の 礎 石	1192
動 物	77
桃 陽(田 村)	1328
東 洋 レ ー ヨ ン	1453
道 路	507
同 和 教 育	843・903
同 和 対 策 事 業	469
徳 丸 保	132
徳 丸 村 論 争	205
徳 本 光 信	1271
戸 塚 政 興	1385
隣 組	334
飛 地	319
友 救 い	1416

索引

[ な ]

長尾谷川	526
中川原地坪	168
中川原橋	510
中川原渡し	509・521
仲田蓼村	1278・1288
	1322
菜種	240
夏井一誉(一田)	1355
南山史(黒田)	1345
南坡(蜂倉)	1282
南北朝時代の松前	135
南洋小学校	771
南予鉄道	740

[ に ]

二鶴(武智)	1333
二鶴(野沢)	1295・1308・1333
にぎたづ	1264
西谷広助	1612
二頭(蛙庵)	1280
日露戦争	865・882
日華事変	785・880
日清戦争	883
日本赤十字	463・881
人数扶持	1408

[ ね ]

子聖大権現	978
子の日の松	1280
子聖道	726・978

年季奉公	246
年年貢	184・236
年齢別人口	14

[ の ]

農会	650
農家戸数	687
農協婦人部	925
農業	234・591
農業委員会	642
農業補習学校	823
農業会	668
農業共済	646
農業協同組合	648
農業倉庫	679
農地委員会	642
農地改革	635
農具	238
農兵制	294
農論	1391
野沢喜久三郎	1276・1331
野沢我人(梅応)	1276・1322・1324
野間叟柳	1323
野村茂三郎	594

[ は ]

梅応(野沢我人)	1276・1322・1324
梅鶯集	1312
俳諧	1272
俳諧四国集	1277・1286
俳額	1320
俳句相撲	1301

梅香集	1314
廃藩置県	300
拜志村供養碑	1393
はきもの	1047
博愛旗	881
泊船集	1097
馬頭観音	998
花の曙	1307
垣生供養碑	1399
蛤御門の変	297
浜村	259
林実正	479
林憲正	577
春免	188
晴着	1043
蟠松(武市庫太)	1585
藩政時代の交通	724
藩籍奉還	299
半窓(陶惟貞)	1220・1289・1505
半窓(田頭半窓)	1277・1326
塙団右衛門	156・1614

[ ひ ]

東古泉村	179・278・280
髭ノ儀右衛門	211
備荒	290
久松(松平)定静	1429
久松(松平)定行	198
備中殿	238
P T A	906
日野林樵柯	1284
ひびけしさま	1006
避病舎	475
漂泊記	1288

俵物	270
平田東助	1447

[ ふ ]

風詠集	1211
風向・風力	32
福祉行政	441
風水害	283・1383
藤井道一(淡村)	1647
婦人会	878・923
婦人学級	890
伏種	609
不動院	989
船橋江畔	1215・1249・1324
ふるさと	1340
文華小学校	771
文健小学校	771
文明小学校	771・1555
文化祭	888・890

[ へ ]

平均寿命	15
兵事会	882

[ ほ ]

保育所	446
宝劔(田)	193・1193
方言	1146
鳳声(弓立)	1292
奉納歌	1250

索引

奉納俳句	1317
鳳朗(田川)	1313
母郷行	1358
墨水小学校	771
保健衛生	484
保健所	484
保健婦	485
星ノ岡の戦	134
母子福祉	460
母子保健	485
ほ乳類	77
ほのぎ	254・1023
墓碑俳句	1359
盆	1081
本佐録	1374
本性寺	961
本多欽	417・667
本多利明	1206
本多利明	1379
本多百太郎	866
本多正信	1374

[ま]

正岡子規	1258・1315・1359・1439
松前駅	740
松前桶大工の指定	159
真葛	1349
松前港	262・531
松前城	135・262・1186
松前小学校	773・784・794
松前商工会	697
松前尋常小学校	773
松前地区家数・人口	177
松前中学校	811

松前町短歌会	1263
松前町俳句会	1335
松前浜の戦	137
松前覧古	1249
真砂廻志良辺	1303・1307・1530
升田栄	1268
松崎新蔵	1617
松崎与五左衛門	1618
松平(久松)定静	1429
松平(久松)定行	198
松の美登里	1309
松山県	300・315
松山城	160
松山藩討伐	296
松山藩の地坪	167
万外	1138
満州事变	555

[み]

味酒神社年代記	1406
水木要太郎	1322
三田村秘事録	1413
水口啓太郎	347
南黒田地蔵尊	1404
南千手観音	998
宮内角丸	1276
宮内木虬	1308
宮野儀助	1115
妙寛寺	984
名字の創設	304
名字の創設	304
明海	973
民間信仰員	996
民生委員	448

民謡	1127
民話	1085

[む]

村	279
村受新田	255
村役人	175
村送り	182
村井俊明	1407
	765・1212・1234・1253

[め]

明栄社	1303
明教館	759
明迷信	1175
明和水論	219
明夫婦泉	222
明夫婦橋	516
明却睡	1393
明免積	184・1380
明面積	7

[も]

毛利氏の来襲	140
モガシ	45・1179
黙翁(塩見)	1276・1314
木長(津坂)	1292
木長(弓立)	1279
本居宣長	1378
物成	184

榎すり歌	1128
森石山	1276・1302
森田弥市郎	1339
森田雷死久	1339・1532・1621
森連甫	1276・1529
もらい風呂	501

[や]

夜学	865・869
野菜	498
矢野権九郎	1280
矢野地藏尊	999・1089
矢野騷動	1089
やぶ入り	1082
山札	201
弥生時代	115
八幡神社	952

[ゆ]

友愛会	883
幽谷上人	1635
郵便	743
郵便局	745
雪勝桜	1181
雪の曙	1290
ユネスコ運動	886

[よ]

洋岳	1301
横井手	225・610

横田駅 738  
 横田地蔵尊 1403  
 予章記 130  
 四ッグロ大権現 278  
 予防接種 482  
 豫陽俳諧友千鳥 1272

[ら]

ラジオ体操 491  
 蘭腕 1325  
 蘭蒨香 1332

[り]

里 125  
 陸橋 796  
 里月(忽那) 1529  
 俚諺・俚謡 1146・1172・1261  
 里正一覽 316  
 律令制 122  
 季瓶(木和村) 1276  
 龍燈の松 1187  
 夢村(仲田) 1287  
 麟趾亭 1213

[れ]

零歳児医療 461

荔枝の蔭 1271  
 霊泉小学校 771  
 歴代町村長 399・410・416・419  
 歴代議会議員 412・418・421  
 歴代議会議長・副議長 400  
 連縁集 1280・1282  
 連句 1304・1306・1311  
 連 甫(森) 1276・1529

[ろ]

老人クラブ 457  
 老人福祉社 455  
 老人人口 14

[わ]

和歌 1250  
 若鮎 1264  
 若連中集 1041  
 和漢朗詠集 1210  
 鷺野南村 762・1216・1639  
 鷺野舜楽 1223・1654  
 渡し 521  
 和田甚太郎 1115  
 和田鹿太郎 1557  
 和田都見神社 949  
 わらべ歌 1123

昭和	時代	時代
一九七六		西暦
昭和五一		年号
<ul style="list-style-type: none"> <li>○宗通寺鐘楼・山門新築 ○松前町警察派出所改築される</li> <li>○道前道後用水の松前地区への送水はじまる</li> <li>④町内全小中学校無人化措置をとる</li> <li>④伊予市松前町共立衛生組合塩美園創設</li> <li>○隅田川の改修が行われる</li> <li>⑤黒田児童公園完成</li> <li>⑦「ひまわり」少年少女合唱団結成</li> <li>⑧松前ママさんバレエ県大会優勝 全国大会に出場</li> <li>⑧第一期江川団地工事完成</li> <li>第二期江川団地工事完成</li> <li>⑪第一回松前町文化祭開催</li> <li>⑪印鑑登録制度改正 若葉保育所改築</li> <li>○農免道路工事進捗中</li> <li>○徳丸貯蓄実践モデル地区に指定される</li> </ul>	松前町地域事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤英国エリザベス女王ご夫妻来日</li> <li>⑨天皇、皇后両陛下米国ご訪問</li> <li>①蜜柑暴落する</li> <li>②県生活文化センター開所</li> <li>⑧伊方原発へ核燃料搬入</li> <li>⑨台風一七号による県下の被害が大きい</li> <li>⑪県下の自動車台数四〇万台突破</li> <li>⑫造船界石油ショックで不況倒産相づく</li> <li>⑫新居浜四坂島の火が消える</li> <li>⑫松山上水道第三次拡張計画を松前町条件付で了承する</li> </ul>	関係地域事項	